

県内自慢の牛が一堂に！ 第51回沖縄県畜産共進会開催

11月1日、糸満市の南部家畜市場で、第51回沖縄県畜産共進会が開催されました。

同共進会は、県内の家畜改良増殖を促進し、畜産農家が相互に研鑽を図ることを目的に毎年開催されています。

今回の共進会には、黒毛和牛と乳牛合わせて61頭が出品され、各部門における審査の結果、最優秀賞の農林水産大臣賞には、肉用牛の母牛と娘牛を出品する高等登録群部門で優秀賞1席となった前門真秀氏が選出されています。会場では乳搾り体験や獣医師体験といった様々なイベントも行われ、多くの家族連れに畜産の魅力を発信する機会となりました。

部門	1席受賞(乳用牛)	
若雌第1類	登川 文雄	沖縄市
若雌第2類	伊敷 哲也	糸満市
成雌第1類	浦崎 徹也	八重瀬町
成雌第2類	具志堅 忍	南城市
団体賞	八重瀬町	

部門	1席受賞(肉用牛・肉牛)	
若雌第1類	玉城 大樹	読谷村
若雌第2類	山城 義光	糸満市
高等登録群	前門 真秀	糸満市
肉牛	石川 豊	うるま市
団体賞	糸満市・沖縄市	



沖縄総合事務局長 開会祝辞



農林水産大臣賞の前門真秀さん



審査に向け牛を磨きあげる畜産農家

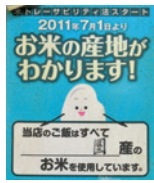
お問合せ先
農林水産部 生産振興課畜産振興室
098-866-1653

外食店で提供される米飯の「産地情報」について

お米、米加工品は、米トレイサビリティ法により、取引等の記録を作成・保存することで、問題が発生した場合、流通ルートをややかに特定できることになっていきます。また、レストランや食堂などで米飯を提供する場合は、一般消費者に米飯の産地を伝達することになっていきます。

レストランや食堂などでの米飯の産地情報の伝達方法には、「店内に産地情報を掲示」、「メニューに産地情報を記載」等があります。産地が国内の場合には「国内産」や「国産」と、産地が外国の場合には、「国名(アメリカ産米なら「アメリカ産」)、国名を省略し州名等のみでの記載は不可)で記載します。ただし、産地が国内の場合には都道府県名等の一般的に知られた地名でも構いません。産地が複数ある場合は、使用した重量順に産地を記載し伝達します。

消費者の皆様も、レストランなどで米飯をご注文の際は産地情報をご確認ください。



「アメリカ産、国内産」

冊子メニューに表記する例

個別メニューごとの表記例

店内掲示の例

産地情報については、店員におたずねください。

店内に産地を知ることができる方法を掲示

本日のオススメ

国産 ○○国産 ○○県産 等

メニューによって米穀の産地が異なる場合

産地情報については、店員におたずねください。

産地を知ることができる方法を掲示した上で、お客様相談窓口、Webサイトによる伝達も可。

国産 ○○国産 ○○県産 等

(その他) 店入口の立て看板、店内配布チラシ、ショップカード等でも可。

【米トレサ法】外食店向けパンフレットの表示例

お問合せ先
農林水産部 消費・安全課
098-866-1672